

記入例【申請する全ての方】

学校へ提出する年月日を記入してくだ

※就学支援金認定番号

※お願い

ボールペン等で記入してください。
えんぴつやインクが消えるボールペンは使用しないでください。

令和 8 年 月 日

北海道公立高校生等奨学給付金受給申請書

保護者等の氏名を記入してください。
保護者等がない場合は、生徒本人の氏名を記入してください。

北

します。

【1. 申請者について】

ふりがな	はこにし みらい	申請者の電話番号
申請者氏名	函西 未来	0 1 2 3 - 4 5 - 6 7 8 9
申請者住所	〒 0 4 0 - 0 0 5 4 函館市元町 7-2-2 7-2 2	
高校生等との関係	親権者 本人 訂正する場合は二重線で消してください（訂正印の押印は不要です）。	

【2. 対象となる高校生等について】

ふりがな	はこにし きぼう	氏 名	函西 希望	生年月日	昭和 平成 令和 2 1 年 1 月 1 日
基 準 在 学 日 現 在 在 学 に 校	学 校 名	北海道函館西高等学校			
		国 立 ・ 公 立 学 校 第 3 学 年（年次）			
		学校の種類・課程・学科：高等学校（全日制）			
	学校の所在地	北海 道 函 館 市 区 町 村	元町7-17		
	在学期間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 現 在 ・ （ 年 月 日 ）			
奨学給付金 受給回数	2 回（昨年度までに奨学給付金を受給した回数）				
過 去 の 高 等 学 校 等 に お け る 在 学 期 間	学校名	令和6年4月1 日～ 令和7年3月31 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数	
	学校名	〇〇県立△△高等学校	高等学校(全日制)	なし 1回 2回 3回 4回 不明 ☐ ☒ ☐ ☐ ☐	
	学校名		学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数	
				なし 1回 2回 3回 4回 不明 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	

別の高等学校等に在学していたことがある場合は、
在学期間等を記載してください。

【3. 同意事項について】

申請書の提出に当たり、次の事項について同意します。（次の内容を確認の上、□全てにレ印を付けてください。）

- ☒ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
- ☒ この申請書に虚偽の記載があった場合は、北海道の求めに従いその全額を即時返還します。
- ☒ 私は北海道以外の都府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
- ☒ 高等学校等 全ての項目に該当することを確認の上、レ印を付けてください。 受給状況、道府県民税等 ※1つでも該当しない項目がある場合は、給付対象となりません。 局長が必要と認める事項について、関係機関（行政機関及び高等学校等）へ照会等の調査を行うことに同意します。
- ☒ 保護者等又は高校生等が、この給付金とその目的を同じくする北海道が実施する次の給付金は給付されていません。
 - (1) 高等学校定時制課程教科書給与事業及び通信制課程教科書学習書給与事業
 - (2) 北海道アイヌ子弟進学奨励補助制度
- ☒ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く。））の支弁対象ではありません。

【4 保護者等の収入の状況について】

記入例【生活保護を受給している方】

(1) 生活保護受給世帯の方

・次の内容を確認の上、□にレ印を付けてください。

☐ 生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費）を受給していることがわかる証明書を添付します。

様式第2号又は生業扶助（高等学校等就学費）の措置状況が確認できる『生活保護受給証明書』を提出してください。

生業扶助を受給している場合は、以下、記載は不要です。

レ印を付けてください。

以下、記入不要です。

※生業扶助（高等学校等就学費）の措置状況が確認できる証明書を添付してください。

所得割額が非課税 ～合算額が182,500円

してください。

	☐	・生徒が未成年（18歳未満）であり、保護者（親権者）が2名存在する場合
②	☐	保護者（親権者）1名分（親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。） ・離婚、死別等により保護者（親権者）が1名の場合、 ・保護者（親権者）が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、保護者（親権者）の1人の課税証明書等を提出できない場合 等
③	☐	未成年後見人（ ）名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分） ※ 未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
④	☐	生徒の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）（両親等）2名分 生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
⑤	☐	主たる生計維持者1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・成年に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
⑥	☐	高校生等本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

イ 次の理由により、課税証明書等を提出しません（※添付省略の場合を含む）。

①	☐	所得確認の対象が高校生等本人（親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合）であるが、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていないため。					
②	☐	就学支援金の申請・届出の際、既に保護者等の課税証明書等を北海道教育委員会に提出しているため、提出を省略します。 ※ただし、就学支援金の申請・届出の際、保護者等全員の課税証明書等を提出していない場合（控除対象配偶者の課税証明書等の提出を省略した場合等）は、奨学給付金では省略できませんので提出してください。					
		<table><tr><td>控除対象配偶者課税証明書等提出</td><td>☐</td><td>省略課税証明書担当者確認欄※都道府県担当職員記入欄</td><td>確認済</td><td>印</td></tr></table>	控除対象配偶者課税証明書等提出	☐	省略課税証明書担当者確認欄※都道府県担当職員記入欄	確認済	印
控除対象配偶者課税証明書等提出	☐	省略課税証明書担当者確認欄※都道府県担当職員記入欄	確認済	印			

② (2)に該当する場合は、次の内容を確認の上、□にレ印を付けてください。

☐ 私の世帯は、7月1日現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助は受給していません。

※学校等受付日

年 月 日

【5高等学校等就学支援金等の支給決定通知の添付について】

(高校生等の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次に該当する場合は、□にレ印を付けてください。)

高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。

☒ 高等学校等就学支援金等の支給決定通知書を添付します。

※高等学校等就学支援金等に含まれる事業

必ず確認し、レ印を記入してください。

7月14日に配布した就学支援金の支給決定書の提出が必要となります。学校では再発行できないため必ず提出してください。

(入国管理局の申請書にレ印を付けてください。)

(1) 高校生等本人の国籍を以下のとおり申請します。

① ☒ 日本国② ☐ 日本国以外

該当箇所に必ずレ印を記入してください。

(上記(1)で②「日本国以外」を選択した場合は、次の③～⑨のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。また、必要事項を記入してください。)

(2) 高校生等本人の国籍及び在留資格・在留期間等を以下のとおり申請します。

③ ☐ 特別永住者④ ☐ 永住者⑤ ☐ 日本人の配偶者等⑥ ☐ 永住者の配偶者等

在留期間(満了日)

(西歴)

年

月

日

⑦ ☐ 定住者

在留期間(満了日)

(西歴)

年

月

日

日本国に永住する
意思の有無☐ はい(あり)☐ いいえ(なし)⑧ ☐ 家族滞在

在留期間(満了日)

(西歴)

年

月

日

日本国の小学校
の卒業の有無等☐ 卒業した☐ 卒業していない

小学校名

所在地

都・道・府・県

日本国の中学校
の卒業の有無等☐ 卒業した☐ 卒業していない

中学校名

所在地

都・道・府・県

日本国で就労する
意思の有無☐ はい(あり)☐ いいえ(なし)⑨ ☐ 上記以外の在留資格
(留学等)

在留期間(満了日)

(西歴)

年

月

日

【7高校生等の国籍・在留資格・在留期間等の確認書類について】

(生徒の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次の①～④のいずれかの□にレ印をつけてください。)

高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。

① ☐ 「住民票の写し(市町村の発行したもの。原本。コピー不可。)」を添付します。

※国籍が「日本国」以外の生徒：国籍・在留資格・在留期間等が記載されたもの。

② ☐ 「特別永住者証明書の写し(コピー)」を添付します。③ ☐ 「在留カードの写し(コピー)」を添付します。④ ☐ 以下に該当するため、①～③のいずれの書類も添付しません。

以下のすべてに該当

・令和8年3月31日以前から
引き続き在学している者
・国籍が「日本国以外」
・「生活保護受給世帯」又は
「令和8年度の住民税が非
課税である世帯」

かつ

以下のいずれかに該当

・在留資格が「定住者」で、日本国に永住する意思がない場合
・在留資格が「家族滞在」で、日本国で就労する意思がない場合
・在留資格が「家族滞在」で、日本国の小学校及び中学校を卒業していない場合

等

(在留資格が「家族滞在」であって、下記のすべてに該当する場合は、⑤⑥の□にレ印を付けてください。)

・6(2)⑧で「日本国の小学校及び中学校を卒業した」にレ印を付けた

・6(2)⑧で「日本国で就労する意思がある」にレ印を付けた

⑤ ☐ 「日本国の小学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。⑥ ☐ 「日本国の中学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。

添付書類①【生活保護を受給している方】

生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による
生業扶助（高等学校等就学費）受給証明書

令和 年 月 日

社会福祉事務所等の証明を受けてください。

(証明者) 印

基準日である「令和8年(2026年)7月1日現在」の証明を受けてください。

次の世帯が、令和8年7月1日現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による「生業扶助（高等学校等就学費）」の受給中であることを証明する。

世帯主氏名 函西 未来	住 所 函館市元町7-22		
世帯員氏名			
氏 名	続柄	生年月日	保護開始日
函西 未来	本人	昭和〇〇年〇月〇日	平成26年7月1日
函西 飛鳥	妻	昭和〇〇年〇月〇日	平成26年7月1日
⋮			
保護開始日は基準日以前であること。			
世帯員の氏名、続柄、生年月日、保護開始日は申請者本人が記載してください。			
証明書の使用目的 北海道公立高校生等奨学給付金の受給手続きのため			
この証明書が「生業扶助（高等学校等就学費）」の証明がある「生活保護受給証明書」のどちらかを提出してください。			

※ 従来の「生活保護受給証明書」等により、認定基準日現在の高校生等本人に係る「生業扶助（高等学校等就学費）」の措置状況が確認できる場合は、代用を可とする。

※ この欄は、押印を省略する場合に記載してください。

担当課名
連絡先

添付書類②【生活保護を受給している方】

生活保護受給証明書

住 所 北海道函館市元町7-22

世帯主氏名 函西 未来

生 年 月 日 昭和〇年〇月〇日

続 柄	氏 名	生年月日
妻	函西 飛鳥	昭和〇年〇月〇日
長男	函西 希望	平成21年1月1日

「生業扶助（高等学校等就学費）」の記載があることを確認してください。※記載箇所は問いません（例えば、使用目的欄等を活用して、記載いただいても問題ありません）。

扶助の種類

生活扶

住宅扶助

教育扶助

介護扶助

医療扶助

生業扶助（高等学校等就学費）

受給期間

平成26年7月1日 から 令和一一年一月一日 まで

使用目的

受給開始日は基準日（令和8年(2026年)7月1日）以前であること。

北海道公立高校生等奨学給付金の申請手続きに使用するため

宛 先 函西 希望 様

証明書の日付は基準日（令和8年(2026年)7月1日）以降であること。

上記の世帯は生活保護法による保護を受給していることを証明する。

令和8年（2026年）7月7日
〇〇市保健福祉部長 〇〇 〇〇

この証明書は社会福祉事務所から取得できる「生活保護受給証明書」の例です。必ず、扶助の種類に「生業扶助（高等学校等就学費）」が記載されているものを提出してください。この証明書が様式第2号（生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費）受給証明書）のどちらかを提出してください。